



婦人労働調査資料号外
一九五五年七月調

8-15119.35

家庭内職の実情

—名古屋市中間報告—

労働省婦人少年局

目次

一、この調査について	1
二、内職世帯の概況	2
1. 世帯主の職業	2
2. 家族構成	2
3. 内職世帯の収入	2
4. 住居	3
5. 世帯内の内職従事者数	4
6. 内職世帯と生活保護その他	4
三、内職従事者の概況	4
1. 内職従事者の性別	4
2. 内職従事者の世帯における地位	4
3. 内職従事者の年齢	4
4. 内職従事者の学歴	5
5. 内職従事者の特技	5
6. 内職をはじめた動機	5
7. 内職従事期間	6
8. 就職の意志の有無	7
四、内職の実情	8
1. 内職の種類	8

2.	原料・材料・機械・器具の供給者と製品の納入先	9
3.	製品の納期	10
4.	内職の季節による繁閑	10
5.	内職をみつけた経路	10
6.	内職に必要な技術	11
7.	従事時間	11
8.	工賃	13
a	一日の工賃	13
b	一時間当り工賃	14
c	内職の種類別工賃	15
9.	一カ月の従事日数	16
10.	一カ月の内職収入	17
11.	内職の健康への影響	17
12.	工賃の支払時期	17
13.	不良品の処置	18

一) この調査について

前回婦人少年局が、東京都で行つた家庭内職調査の結果は、内職に関する次のような問題を明らかにした。

1. 仕事に繁閑があり、安定性がない。
2. 内職を希望しながらも、仕事を得られないでいるものも多く、広く内職に関する情報を提供する公共の機関の設置が要望されている。
3. 内職の工資は著しく低い。
4. 一般に婦人は特技をもつものが少いが、内職は、熟練と技術を要するものは比較的高賃金であるのに反し、技術を要しない簡易なものは特に低賃金である。
5. 工資の不払、遅払等の紛争がある。

右のような現状の中から、昭和三十年度に、東京、大阪、愛知、神奈川、福岡の五カ所に内職公共職業輔導所の設置をみるにいたつた。このような経緯にかんがみて今回は、東京都に引続いて大阪市と名古屋市で内職調査を行い、内職に関する実情の把握を行つた。この報告書は、今回の名古屋市での調査の中間報告である。

調査の対象は、名古屋市一二区内の普通住宅地区の一般世帯で、その約一％に当る一、七一〇世帯を戸別訪問して調査した。調査の時期は昭和三十年七月上旬、調査の方法は、調査票を「A全世帯調査票」と「B内職世帯調査票」に分け、先ず、内職に従事しているかどうかを問はず、被調査世帯全部を訪問してA票による調査を行い、その中からこの調査における内職の定義にあてはまるいわゆる「手内職」を行つている「内職世帯」を発見し、その世帯に対してB票による内職世帯調査を行つた。

調査の結果、内職に従事している世帯は、被調査世帯の約一二％に当る二一〇世帯で、同時に二種類以上

の内職をしている世帯はなかつた。

二、内職世帯の概況

1. 世帯主の職業

この調査は、普通住宅地域を対象としたため、内職をしている世帯の世帯主の職業は、第一表の通り、会社員、公務員、工員等、いわゆる係給生活者が多い（五〇％）が、又無職が二六％の高率を占めているのが目立つ。このほか日雇、職人等で、世帯主収入の不安定な世帯が、不安定な収入のおきないとして内職に従事しているものも少くない。

又、これらの中女世帯が一七％ある。女世帯主で職業をもっているものは少く、その大多数（九二％）は無職である。

第1表

世帯主の職業別内職世帯数（％）
1955年7月婦人少年局調

総数	100.0%
会社員	21.0
公務員	6.2
工員	17.1
その他の係給生活者	5.2
日雇及び職人	5.2
自営	4.8
農業	9.0
小売業	1.4
卸売・製造加工修理業	3.3
その他	1.9
無職	26.2
その他	0.5
その他	4.8

第2表

乳幼児を有する内職世帯数（％）及び
内職世帯の1世帯当り平均家族人数

1955年7月婦人少年局調

一 世帯当り平均家族人数	4.7人
内職世帯総数	100%
4才未満乳幼児を有する世帯	19.5
その他の世帯	80.5

2. 家族構成

内職世帯の一世帯当りの平均家族人数は、第二表のとおり四・七人で、名古屋市の一世帯当りの平均四・五人と大差はない。内職世帯のうち、四才未満の乳幼児をかかえている世帯は約二割である。

3. 内職世帯の収入

内職世帯の内職以外の収入の状況を見ると、世帯員の中に一

定の所得あるものがない世帯が一一%ある。この状況からも想像出来るとおり、内職世帯の収入は一般に低く、一世帯当り1カ月の平均収入総額は一四、六七九円、又「収入なし」と答えた世帯(一一%)を除く内職世帯の一世帯当り1カ月の平均収入総額は第三表のとおり、一六、九〇〇円(いずれも内職収入を除く)である。参考までに、名古屋市勤労者世帯の一世帯当り1カ月の実収入を見ると三六、〇二二円であるから、内職世帯の平均は一般水準に比べてかなり低いものと思われる。

4. 住居

内職世帯のうち、自分の持家に住むものは、第四表のとおり三六%、借家に住むものは五九%で、その他は借間、アパート、寮等である。住宅統計調査(昭和二八年総理府統計局調)によると、名古屋市の住宅状況は、自分の持家

注) 第3表 家族人数別1世帯当り1ヵ月平均収入総額
1955年7月婦人少年局調

家族人数	1世帯当り1ヵ月平均収入総額
総数	16.900 円
1人	5.000
2人	10.471
3人	12.152
4人	16.109
5人	16.011
6人	20.265
7人	20.833
8人	26.214
9人	30.833
10人以上	-

注) 「収入なし」と答えた世帯を除く内職世帯の平均
内職による収入を除く

が五〇%、借家が四三%であるから、内職世帯の中の自分の持家の率は一般より低い。又、内職世帯の平均一人当りの畳数は三・四畳、前掲住宅統計調査では三・五畳となつてゐる。

第4表 住居の種類別内職世帯数(%)

1955年7月婦人少年局調

総数	100%
自家	36.2
借家	58.6
借間	2.9
その他	2.3

第5表

家族人数別平均一人当
りタミ数

1955年7月婦人少年局調

家族人数別	平均一人当りタミ数
総数	3.4 疊
1 人	16.1
2 人	6.5
3 人	4.6
4 人	4.2
5 人	3.1
6 人	2.7
7 人	2.5
8 人	1.8
9 人	2.4

三 内職従事者の概況

1.

内職従事者の性別

内職従事者の大部分は婦人で、従事者総数の九二%を占めている。又、世帯内の手伝い
のものを除いた主たる内職従事者について見ると、その九
五%が婦人である。

2.

内職従事者の世帯における地位

内職に従事する婦人のうち、主となつて内職に従事して
いる（手伝いのものを除く）ものの七五%は主婦（妻・嫁）
であり、一六%が世帯主である。これに対し男子の場合は、
主たる従事者の大部分（男子の九一%）は世帯主である。

（第六表）

3.

内職従事者の年齢

内職従事者の平均年齢は、男女共かなり高く、女子四〇

5.

世帯内の内職従事者数

一世帯内の内職従事者の人数は、一人の場合が多く、
（八八%）、二人以上従事している世帯は少いが、中
には五人以上従事している世帯もある。

6.

内職世帯と生活保護その他

内職世帯のうち、生活保護法による保護を受けている
世帯は三%あり、その中女世帯のみについてみると、
その率は一四%に及んでいる。

第6表

世帯における地位及び男女
別内職従事者数

1955年7月婦人少年局調

世帯における地位別	総数	男子	女子
総数	100.0%	100.0%	100.0%
世帯主	20.0	91.0	16.1
妻	69.5		73.4
両親	4.8	9.0	4.5
嫁	1.4		1.5
子供	2.9		3.0
その他	1.4		1.5

注) 世帯内の主たる内職従事者のみにつ
いて集計

第9表

特技の有無及び男女別内職
従事者数(%)

1955年7月 婦人少年局調

	総数	男子	女子
総数	100%	100%	100%
特技なし	59.8	18.2	62.1
特技あり	31.8	72.7	29.6
不明	8.4	9.1	8.3

注) 世帯内の主たる内職従事者についてのみ集計

6. 内職をはじめた動機から、内職をはじめた動機も、第一〇表のとおり、

(第九表)
 鋳物、仏具製造等、専門的技術的なものが多い。
 が比較的多く(七三%)、その種類も、木工、旋盤、
 る。男子内職従事者の場合は、特技あるものの割合
 洋裁、ミシンかけ、手芸、紳士服仕立、編物等であ
 持つものは三〇%にすぎない。その種類は、和裁、
 が、この調査でも、女子内職従事者のうち、特技を
 内職は、その性質上、極めて単純な技術しか要しないものが多い上に、現在内職を希望し
 ている婦人の大部分が、特技を持たないために、ますます工賃の安い、単純な仕事にしか
 たずさわれないのが実情のようである。

5.

内職従事者の特技
 内職は、その性質上、極めて単純な技術しか要しないものが多い上に、現在内職を希望し
 ている婦人の大部分が、特技を持たないために、ますます工賃の安い、単純な仕事にしか
 たずさわれないのが実情のようである。

4.

内職従事者の学歴
 世帯内の主たる内職従事者について、その教育程度を見ると、小学校卒、高等小学校卒を合せて、女子は八二%、男子は七三%で、男女共旧制専門学校卒以上はない。(第八表)

第7表

内職従事者の性別平均年令
1955年7月婦人少年局調

総数	41.1才
男子	50.6
女子	40.5

注) 世帯内の主たる内職従事者のみに集計

第8表

学歴及び男女別内職従事者数(%)
1955年7月婦人少年局調

	総数	男	女
総数	100%	100%	100%
小卒	30.0	36.4	29.6
高小卒	51.4	36.4	52.3
旧中卒	13.8	9.0	14.1
新中卒	0.9		1.0
新高卒	0.5		0.5
無学	2.9	18.2	2.0
不明	0.5		0.5

注) 世帯内の主たる内職従事者についてのみ集計

第10表

内職をはじめた動機及び男女別内職従事者数(%)

1955年7月 婦人少年局調

総 数	総 数	男 子	女 子
100 %	100 %	100 %	100 %
収入を得たいから	75.2	66.7	75.8
夫と死別(又は離別)したから	10.2		10.8
独立して生活したいから	2.7	33.3	0.8
世帯主の収入がないから	7.8	6.7	7.9
正帯主の収入が少ないから	35.3		37.5
特別に支出を要する事由があるから	3.9		4.2
小遣がほしいから	11.8	20.0	11.3
そ の 他	3.1	6.7	2.9
不 明	0.4		0.4
技術を身につけたいから	2.4	6.7	2.1
ひまだから時間をつぶすため	16.5	13.3	16.7
そ の 他	5.9	13.3	5.4

注1) 世帯内の主たる内職従事者についてのみ集計

注2) 1人で2つ以上の動機をもつものも多数含む。

7.

「世帯主の収入が少ないから」と答えたものが一番多い(三八%)。又「夫と死(離)別したから」(一一%)、「世帯主の収入がないから」(八%)、「特別に支出を要する事由があるから」(四%)等のように、欠くことの出来ない家計費の一部又は大部分を内職に頼っているものも少なくない。この外「小遣がほしいから」(一一%)、「独立して生活したいから」(一一%)と答えているものも含め、収入を得ることを直接の目的に内職をはじめたと答えているものは七六%を占めている。その他「ひまだから時間をつぶすため」(一七%)、「技術を見につけたいから」(二%)と答えているものもある。

内職従事者中五%を占める男子従事者については「独立して生活したいから」と答えたものが最も多い(三三%)。

内職従事期間
内職をはじめてからの期間は、三年以上のものが過半数(五二%)を占め、平均従事年数は四・九年である。(第一一表)

「内職を長く続けたいと思いますか」の問

第11表

内職(種類を問はず)従事期間別内職従事者数(%)及び一世帯当たり平均従事年数

1955年7月 婦人少年局調

	総数	男子	女子
一世帯当たり平均従事年数	4.9年	8.2年	4.7年
総数	100%	100%	100%
1ヵ月未満	0.5		0.5
1ヵ月以上~3ヵ月未満	1.24	1.81	1.21
3ヵ月"~6ヵ月"	3.8	9.1	3.5
6ヵ月"~1ヵ年"	6.2		6.5
1年"~2年"	11.4		12.1
2年"~3年"	11.9	9.1	12.1
3年"~5年"	17.6	9.1	18.1
5年"~10年"	17.6	27.3	17.0
10年以上	17.2	27.3	16.6
不明	1.4		1.5

注) 世帯内の主たる内職従事者についてのみ集計

8. 内職の意志の有無
 内職従事者の大部分は、収入を得ることを直接の目的としているのであるが、彼等が内職に頼るだけでなく、外に
 対しては、「続けたい」と答えているものが圧倒的(八九%)で、その多くは「生活費の補助」をその主な理由としてあげている。(第一二表)

第12表 内職を長く続けたいと思いませんか。

一理由別主たる内職従事者数(%)一

		1955年7月 婦人少年局調		
		総数	男子	女子
総数		100.0%	100.0%	100.0%
続けたい	小計	88.6	7.27	8.94
	小遣がほしいから	5.7	—	6.0
	生活費補助のため	5.25	3.63	5.33
	学費補助のため	3.3	—	3.5
	現在の仕事に満足	6.2	9.1	6.0
	特技をもっている為	1.0	1.82	—
	暇があるから	9.0	—	9.5
	独立の生活を維持するため	1.4	9.1	1.1
	適当な職がないから	1.4		1.5
	その他	3.8		4.0
	不明	4.3		4.5
続けたくない	小計	11.4	2.73	1.06
	外に働きに出たいから	4.3		4.5
	時間的に苦しい	1.0		1.1
	疲労のため	1.3	9.1	1.1
	収入が少ないから	3.3	9.1	3.0
	その他	1.0	9.1	0.5
不明	0.5		0.4	

三 内職の実情

に働きたい出られれば出たいという意志を持つていかどうかについて調べた結果は次の通りであつた。「外に出られれば働きたいと思ひますか」という問に対して、第一三表のとおり、「出たいが出られない」と答えたものが七〇%を占めてゐる。出られない理由としては、「子供がいる」(二五%)、「留守番がない」(一四%)、「家事が忙しい」(六%)、「病人がいる」(二%)等、家事にしばられて出られないものが多いが、又「適当な職がない」(九%)、「就職したいが雇ってもらえない」(四%)等、職がないためにもやむなく内職をしてゐるものも少くない。又「病弱」「老年」のために出られないと答えてゐるものも約一割ある。

1. 内職の種類

内職の種類と製作過程は、巻末統計表(第一表の一覧表)にも見るとおりその種類が多く、この調査で取扱つた名古屋市内の内職だけでも九七種に達している。従事者の最も多いのは洋裁で、二三%を占め、和裁(一二%)、手袋(一二%)、紙製品(一%)等の従事者が比較的多い。前回の東京都の調査と比べて特徴的なのは、東京の山の手方面でさかんに行われている造花、刺しゅう、製本が名古屋市に少く、その代り陶器の絵つけの内職があつたことである。(第一四表)

第13表

就職の意志の有無及び男女別内職従事者数(%)

1955年7月 婦人少年局調

	総数	男子	女子
総数	100%	100%	100%
出たいが出られない	69.9	81.8	70.3
病弱	6.2	9.0	6.0
子供がいる	25.2		26.6
病人がいる	1.9		2.0
留守番がない	13.8		14.6
家事が忙しい	5.7		6.0
適当な職がない	8.6	27.3	7.6
就職したいが雇ってもらえない	4.3	27.3	3.0
老年のため	3.4		3.5
その他	0.8	18.2	1.0
外に出られるが出たくない	15.7	9.1	16.1
その他	13.9	9.1	13.1
不明	0.5		0.5

注) 世帯内の主たる内職従事者についてのみ集計

第14表

種類別(大分類)内職従事者数(%)

1955年7月 婦人少年局調

内職種類別(大分類)	種類数 (小分類)	従事世帯数(%)		
		総数	男子注)	女子注)
総数	97	100%	100%	100%
1 食料品	5	67		70
2 メリヤス製品	1	14		15
3 編物	3	24		25
4 染色及び整理	3	33		35
5 洋裁子	18	229		242
6 帽	3	14		15
7 和裁袋	4	119		126
8 手履	4	115		111
9 履物	6	76	182	70
10 木製品	7	33	363	15
11 紙製品	14	105		111
12 金属製品	3	19	182	10
13 ビニール製品	2	14		15
14 機械器具製品	7	38	182	30
15 玩具	4	24		25
16 陶器	2	29		30
17 その他の雑業	10	57	91	55

注) 世帯内の主たる内職従事者についてのみ集計

機械器具を「必要」としているものが五一%を占めている(第一五表)。これらの機械器具は、全部自弁のものが多く、機械の種類としては、編物機械と洋裁用ミシンが圧倒的に多く、その他和裁用の道具、アイロンその他の小器具類が主なものである。

原料・材料を「他から供給されている」ものでは、第一六表のとおり、直接製造業者からもらっているものが多く(四二%)、仲介人がこれに次ぎ(二二%)、消費者(一二%)、問屋(一〇%)、商店(六%)等からもらっているものも少くない。消費者から直接原料、材料をもらっているもの

第15表

内職の原料、材料、機械器具の入手方法別内職世帯数(%)

1955年7月 婦人少年局調

入手方法別	原料材料	機械器具
総数	100%	100%
全部自弁	05	438
一部自弁	338	05
全部他から	657	53
不 必 要	—	486
不 明	—	18

回の調査の結果、

複雑な機械器具を使う場合は少ないが、今

は除外した。

内職は単純な仕事が多いため、一般に

では、自分で原料・材料を仕入れ、小売

店を構えてその製品を販売しているもの

は、第一五表のとおり、最も多いのは、

原料・材料を「全部他から」供給されて

2.

原料・材料・機械・器具の供給者と製

第16表

原材料、機械器具の供給者及び製品
納入先別内職世帯数(%)

1955年7月 婦人少年局調

	原材料の供給者	機械器具の供給者	製品の納入先
総数	100%	100%	100%
製造業者	41.6	66.7	40.5
仲介人	2.20	8.3	21.4
問屋	9.6	25.0	10.0
授産所	0.5		0.5
内職斡旋所	1.0		1.0
商店	6.2		6.2
消費者	12.4		12.4
その他	6.7		6.2
不明			1.8

※ 繁閑があり、「平均にある」と答えたものの比較的多いのは紙製品、金属製品にすぎず、「繁閑がある」と答えたものが七二%に及んでいる。(第一八表)

「忙しい月」は六月、七月、十一月、十二月「仕事の切れ易い月」は、二月、八月と答えているものが多い。

5. 内職をみつけた経路

内職をみつけた経路は、第一九表のとおり、「縁故者の紹介」によるものが多く(五七%)、又「直接製造業者(又は仲介人)と交渉」したものの、「広告」によつてみつけたもの、「直接授産所(又は内職斡旋所)へ行つた

第17表

製品の納期の有無別内職数%

1955年7月 婦人少年局調

総数	100%
(1) きまつている	42.5
イ、全部納めなければならぬ	28.7
ロ、出来た分だけ納めればよい	13.8
(2) きまつていない	57.1
不明	0.4

4.

内職の季節による繁閑

中では、洋裁、和裁、編物が多い。製品の納入先は、大体、原料・材料の供給者と一致している。製品の納期
製品の納期は、第一七表のとおり、「きまつていない」ものが多い(五七%)。「きまつている」ものの中では、納期がきたら「全部納めなければならぬ」ものが過半数を占め、そのため納期の前日には、かなり無理をして仕上げなければならぬ場合が多いようである。

3.

※ すべての内職従事者が切望することは、仕事が切れることなく、一年中平均に収入が得られるということであるが、多くの内職は、季節によつて

第18表

仕事の繁閑の有無別内職数

1955年7月
婦人少年局調

総数	100%
平均にある	25.7
繁閑がある	72.4
不明	1.9

第20表

仕事を覚えるのに訓練や練習を必要としましたか

1955年7月 婦人少年局調

	総数	男子	女子
総数	100%	100%	100%
必要とした	524	81.8	50.8
必要ない	476	18.2	49.2

注) 世帯内の主たる内職従事者についてのみ集計

第21表

仕事の練習期間別内職従事者数注)(%)

1955年7月 婦人少年局調

	総数	男子	女子
総数	100%	100%	100%
1日未満	173		18.8
2日以上~10日未満	100		10.9
10日"~1ヵ月"	36		4.0
1ヵ月"~3ヵ月"	127	11.1	12.9
3ヵ月"~6ヵ月"	18		2.0
6ヵ月"~1年"	45		5.0
1年"~2年"	82	22.2	6.9
2年"~3年"	100	11.1	9.9
3年以上	264	55.6	23.8
不明	55		5.8

注) 「練習を必要とした」ものみについて集計

7.

「練習を必要とした」ものみについて集計

内職を始めた動機にも見られるように、女子では「知人(個人)」が多い。(第二三表)

「個人」が多く、女子では「知人(個人)」によるものが最も多いが、男女別に見ると、男子では「工場」が多く、女子では「知人(個人)」が多い。(第二三表)

「個人」が多い。(第二三表)

内職をはじめた動機にも見ら

第19表

仕事をみつけた経路別内職世帯数(%)

1955年7月 婦人少年局調

	総数	100%
縁故者の紹介		57.1
直接製造業者(又は仲介人)と交渉		22.4
広告		2.4
直接授産所へ行つた		1.9
その他		15.2
不明		1.0

6.

ものなどがある。

内職に必要な技術

内職は単純な手先の仕事が多く、その大部分は、高度の技術を必要としない。従つて、内職に必要な技術を覚えるために、特別の訓練を受けたり、練習をしたりする場合は少い。第二〇表によると、「仕事を覚えるのに訓練や練習を必要としましたか」の問に対して、「必要とした」と答えたものが五二%あり、又第二一表のとおり、訓練、練習期間一年以上のものが、「練習を必要とした」と答えたものの半数近くを占めてはいるが、これらは、内職することを目的として、特別の訓練を受けたのではなく、例えば、女子の場合の和裁、洋裁、編物等の技術のように、前から持つていた特技を、内職に生かしている場合が多い。

これらの技術をおぼえた場所又は手段としては、「知人(個人)」によるものが最も多いが、男女別に見ると、男子では「工場」が多く、女子では「知人(個人)」が多い。(第二三表)

第24表

1世帯当り1日平均従事時間
延長 注)

1955年7月 婦人少年局調

	総数	男子注)	女子注)
普通の日	7時15分	12時11分	6時58分
特に多い日	9時35分	12時20分	9時29分

注) 世帯内の主たる従事者の性別

が、同世帯内の手伝いのものも含めた従事時間延数の「普通の日」の平均は第二四表のとおり七時間一五分、その中、主たる従事者が男子の世帯の平均は一二時間一分、主たる従事者が女子の世帯は六時間五八分である。又一「特に多い日」について見ると全体の平均は九時間三五分、主たる従事者が男子の世帯一二時間二〇分、女子の世帯九時間二九分である。

以上のように、内職従事者の平均従事

第23表

1日の内職従事時間別内職従事者数注)(%)及び1日当り1人平均従事時間

1955年7月 婦人少年局調

	普通の日			特に多い日		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子
平均従事時間	6時36分	10時49分	6時22分	8時37分	10時40分	8時32分
総数	100%	100%	100%	100%	100%	100%
3時間未満	24		25			
3時間以上～5時間未満	129		136	24		25
5時間～8時間	486	182	503	233		247
8時間～10時間	190	91	196	229	90	236
10時間～12時間	110	545	85	181	182	181
12時間以上	24	182	15	100	273	90
不明	37		40	233	455	221

注) 世帯内の主たる内職従事者のみについて集計

第22表

技術習得場所別内職従事者数注)(%)

1955年7月 婦人少年局調

	総数	男子	女子
総数	100%	100%	100%
公共職業補導所	0.9		1.0
内職斡旋所	3.6		4.0
学校	16.4		17.8
私塾	9.1		9.9
工場	11.8	5.56	7.9
商店	4.5		5.0
知人(個人)	28.2	2.22	28.7
その他	25.5	2.22	25.7

注) 世帯内の主たる内職従事者についてのみ集計

れるとおり、内職は、すくなく一家の収入を補い、或は一家を支えるための真剣なものであるだけに、その従事時間も、主婦の家事の片手間仕事というにはかなり長く、第二三表のとおり、「普通の日」の女子一人一日平均従事時間は六時間二二分、男子の平均は一〇時間四九分である。

以上は、一世帯内の主たる内職従事者の従事時間である

第26表

1日の工資別内職世帯数(%)及び1世帯当り1日平均工資

1955年7月 婦人少年局調

	普通の日			特に多い日		
	総数	男子注)	女子注)	総数	男子注)	女子注)
一日の平均工資	106円	347円	93円	157円	383円	147円
総数	100%	100%	100%	100%	100%	100%
20円未満	114		121	24		25
30円以上～50円未満	129		136	81		85
50円"～100円"	329		347	171		181
100円"～200円"	25.7	182	261	271	91	282
200円"～300円"	76	182	70	105	182	101
300円"～500円"	43	273	30	67	91	65
500円以上	1.9	273	05	43	273	30
不明	33	90	30	238	363	231

注) 世帯内の主たる内職従事者の性別

8.

a. 一日の工資
内職はその種類が多く、その工資もまちまちであるが、又内職従事者自身の間にも、従事時間の差、技能の差、一世帯内の従事者数の差などがあつて、一日の

「多すぎる」と答えたものも二一%あり、家計のために相当無理をして

この従事時間が、内職をしているものにとつて、どの程度の負担になつてゐるかをみると、「あなたが内職に従事している時間は適当ですか」の問に対して、第二五表のとおり、大多数

であるが、内職従事者の中には、一日に一〇時間以上従事しているものが「普通の日」一三%、「特に多い日」には二八%もある。

時間はかなり長い。同時期の製造業常用生産労働者の一日当り労働時間を見ると
総数 八時間二二分 (労働省調毎月勤労統計調査より算出)
男子 八時間二六分
女子 八時間一分

第25表

1日の従事時間は適当ですか。
(内職従事者数(%)注)

1955年7月 婦人少年局調

	総数	男子	女子
総数	100%	100%	100%
少ない	57		60
適当	729	364	750
多すぎる	205	636	180
その他	09		10

注) 世帯内の主たる内職従事者のみについて集計

工賃は、世帯により、仕事の種類によつて大きなひらきがある。今回の調査でも、「一日の工賃はどの位になりますか」の問に対し、その答は、三〇円未満のものから五〇〇円以上のものまで広範囲にわたつてゐる。一日にどの位の工賃を得ているものが多いかを見ると、第二六表のとおり、「普通の日」の工賃が五〇円以上一〇〇円未満のものが最も多く（三三％）、一世帯一日当り平均工賃は一〇六円である。これを世帯内の主たる従事者の性別によつてみると、主たる従事者が男子の世帯の一日当り平均工賃は三四七円、女子の世帯は九三円である。又「特に多い日」についてみると、一世帯一日当り平均一五七円、主たる従事者が男子の世帯の平均は三八三円、女子の世帯一四七円である。

b
 一時間当り工賃

このように男子の内職収入が女子の場合より高いのは、従事時間になりの差があり、ことに手伝のものも含めた従事時間数に、相当のひらきがある（第二四表参照）ことも原因していると思われるが、又、仕事の種類や熟練度がちがうことも大*
 一時間当り工賃

第27表
 1世帯1時間当り平均工賃
 1954年7月 婦人少年局調

総数	製造業常用生産労働者	
	内職	1)
総数	15円	7.2円
男子2)	28円	8.9
女子2)	13円	4.1

注1) 労働省毎月労働統計調査1955年6月より算出
 2) 世帯内の主たる内職従事者の性別

一見大差ないものでも、技術や収入等の点で、いわゆる「内職」の領域を出ていると思われるものも多い。
 なお、製造業常用生産労働者の一日平均現金給与額は
 総数 六〇五円（労働省調毎月勤務統計調査より算出）
 男子 七五二円
 女子 三三二円
 であるから、これに比べると、内職の一日当り工賃は低い。

しかし、一日の工賃の額は、その日の従事時間数と関係が深いから、工賃を比較する場合、一日の従事時間を考慮に入れた一時間当り単価によつて見る方が妥当であらう。そこで、一日の工賃を、手伝いのもも含めた一日の従事時間数で割つて、一時間当りの工賃を算出して見ると、第二七表のとおり、総数平均一五円、男子二八円、女子一三円である。これに対して、製造業常用生産労働者の一時間当り平均現金給与額

を算出すると

総数 七二円 (労働省調毎月勤労

統計調査より算出)

男子 八九円

女子 四一円

であるから、内職の工賃は相当低いものもあるといえよう。

C 内職の種類別工賃

内職の種類(小分類)別の工賃の詳細については、巻末第二表の一覧表に見るとおりであるが、これを大きく一七種に分類して見ると、第二八表のとおりである。

女子の内職従事者が一日に得ている工賃を種類別に見ると、比較的高いのは、陶器の絵つけ一四九円、編物一四三元、洋裁一二三元、帽子一七円、和裁一〇九円等で、一日せめて一〇〇円になれば……という嘆声のとおり、一〇〇円を上廻るものは、相当技術を要する数種類にすぎない。

第28表

内職種類(大分類)別一世帯当り1日平均工賃及び1時間当り平均工賃1)

1955年7月 婦人少年局調

内職種類別(大分類)	1日の平均工賃			1時間当り平均工賃		
	総数	男子 2)	女子 2)	総数	男子 2)	女子 2)
総数	106円	347円	93円	15円	28円	13円
食料品	55		55	7		7
メリヤス製品	75		75	10		10
編物	143		143	17		17
染色及び整理	82		82	10		10
洋裁	123		123	18		18
帽子	117		117	9		9
和裁	109		109	17		17
手袋	45		45	8		8
履物	135	460	88	15	27	11
木製品	212	338	45	20	25	7
紙製品	71		71	11		11
金属製品	107	200	60	13	20	9
ビニール製品	63		63	19		19
機械器具製品	173	450	80	25	56	12
玩具	76		76	13		13
陶器	149		149	17		17
その他の雑業	49	100	44	8	10	7

注 1). 1時間当りの平均単価 = $\frac{1日の平均工賃}{1日の従事時間延数(手伝いのものも含めて)}$
 2). 世帯内の主たる内職従事者の性別

第29表 先月6月)は何日位内職をしましたか、
1カ月の従業日数別主たる内職従事者数(%)
及び1人1カ月平均従業日数(1955年6月分)

1955年7月 婦人少年局調

	総 数	男子注)	女子 注)
平均日数	18.8日	26.6日	18.4日
総 数	100%	100%	100%
10日以内	180		191
11日~15日	162		171
16日~20日	248	91	256
21日~30日	310	81.8	281
不 明	100	91	101

注) 世帯内の主たる内職従事者の性別

男子 二四・七日 (労働省調毎月勤労統計調査一九五五年六月)
女子 二三・八日

六月)

であるから、女子内職従事者の一カ月の平均従事日数は、雇用労働者より少い。これは、内職従事者の中には、家庭の主婦が多いためと思われるが、又第三〇表のとおり、その「従事日数は適当ですか」の問に対して、「もつとしたい」と答えているものが三二%あるところから、仕事を希望しながらも、従事出来なかつたのも少くないものと思われる。

9.

調査時期の前月、即ち六月に行つた内職に「何日従事しましたか」の問に対し、第二九表のとおり、一五日以内のものが三四%、一六日以上のもので五六%の割合で、平均日数は一八・八日である。平均従事日数を男女別に見ると、男子は二六・六日、女子は一八・四日で、男子の従事日数は女子よりかなり多い。

なお、製造業常用生産労働者の一カ月当り平均出勤日数は、
総数 二四・三日 (労働省調毎月勤労統計調査一九五五年

月勤労統計調査一九五五年

第30表 1カ月の従事日数は適当ですか

—1カ月の従事日数の適否別内職従事者数注)(%)—

1955年7月 婦人少年局調

	総 数	男 子	女 子
総 数	100%	100%	100%
もつとしたい	324	364	322
適 当	562	364	573
多 すぎ	57	272	45
そ の 他	33		35
不 明	24		25

注) 世帯内の主たる内職従事者のみについて集計

10. 一カ月の内職収入（巻末第二表参照）

内職従事者は、雇用労働者ともがつて人により一日の従事時間や一カ月の従事日数がまちまちなので、一カ月の内職収入も、五〇〇円未満から一〇、〇〇〇円以上に至るまでまちまちである。

一カ月間にどの位の工賃を得ているものが多いかをみると、一、〇〇〇円以上二、〇〇〇円未満のものが最も多く三〇％を占め、一カ月の平均内職収入は、第三二表のとおり、二、五五二円、その中男子従事者の平均は一、二九一円、女子従事者の平均は二、〇二四円となつてゐる。

この内職による一カ月の収入を、常用労働者の賃金と単純に比較するのは、従事時間、従事日数その他に差があるので適當ではないか、参考までに、製造業常用生産労働者の一人一カ月平均現金給与総額をみると、

総数 一四、六九六円（労働省毎月勤労統計調査一九五五年六月）
 男子 一八、五六五円
 女子 七、八九四円

11. 内職の健康への影響

多くの内職従事者にとつて、内職による収入は、生活になくしてはならないものであるだけに、仕事に追われて無理をすることも起りがちで、「その仕事は健康に影響がありますか」の問に対して、第三二表のとおり、過半数は、「支障ない」と答えているが、二六％のものは、「疲れがひどく重荷である」と答えている。

12. 工賃の支払時期

工賃は、第三三表のとおり、月一回一定の日をきめて支払われることになつてゐるものが過半数（七二％）を占

第31表 1カ月の内職収入別内職世帯数(%)及び1世帯当り1カ月平均工賃(1955年6月分)

1955年7月 婦人少年局調

	総数	男子	女子
	円	円	円
1カ月の平均工賃	2,552	11,291	2,024
総数	100%	100%	100%
500円未満	11.9		12.6
500円以上～1,000円未満	16.2		17.0
1,000円"～2,000円"	29.6	9.1	30.7
2,000円"～3,000円"	10.0	9.1	10.1
3,000円"～5,000円"	11.9		12.6
5,000円"～10,000円"	7.1	9.1	7.0
10,000円以上	5.2	72.7	1.5
不明	8.1		8.5

注] 「6月中に内職に従事した」世帯数を100%とする

※場合が多いようである。そのほか「弁償させられるもの、単価を下げられるものなどがある。」

第32表

内職の健康への影響別内職従事者数(%)

1955年7月 婦人少年局調

	総数	男子	女子
総数	100%	100%	100%
疲れがひどく重荷である	26.2	36.4	25.7
支障ない	63.8	45.4	64.8
もつと働ける	5.2	9.1	5.0
その他	4.8	9.1	4.5

注) 世帯内の主たる内職従事者数についてのみ集計

第33表

工賃の支払時期別内職数(%)

1955年7月 婦人少年局調

総数	100%
製品と引替	23.4
月1回	72.2
月2回	2.5
その他	1.9

第34表 工賃は規定の時期に支払われているか (内職世帯数%)

1955年7月 婦人少年局調

総数	100%
いる	91.4
いない	5.3
10日未満おくれる	1.4
20日 "	1.0
1カ月 "	0.5
1カ月以上~3カ月未満	1.9
その他	0.5
その他	1.4
不明	1.9

※と答えてい

製品に不良品が出た場合、一般にどのような処置をとっているであろうか。第三五表のとおり、「不良品が出た事がないからわからない」と答えているものが過半数(五四%)を占め、又「やり直しをさせられる」と答えたものが二五%である。又一%のものは「問題にされたい」と答えているが、この

13.

不良品の処置
め、又、製品と引替のものも少くない。又、その工賃が、きまつた日に規定どおり支払われているかどうかを見ると、第三四表のとおり、五%余りのものは、規定通り支払われていないと答え、相当日数おくれるといっているものが多く、中には一カ月以上おけているものもある。

第35表

不良品の処置方法別の内職数(%)

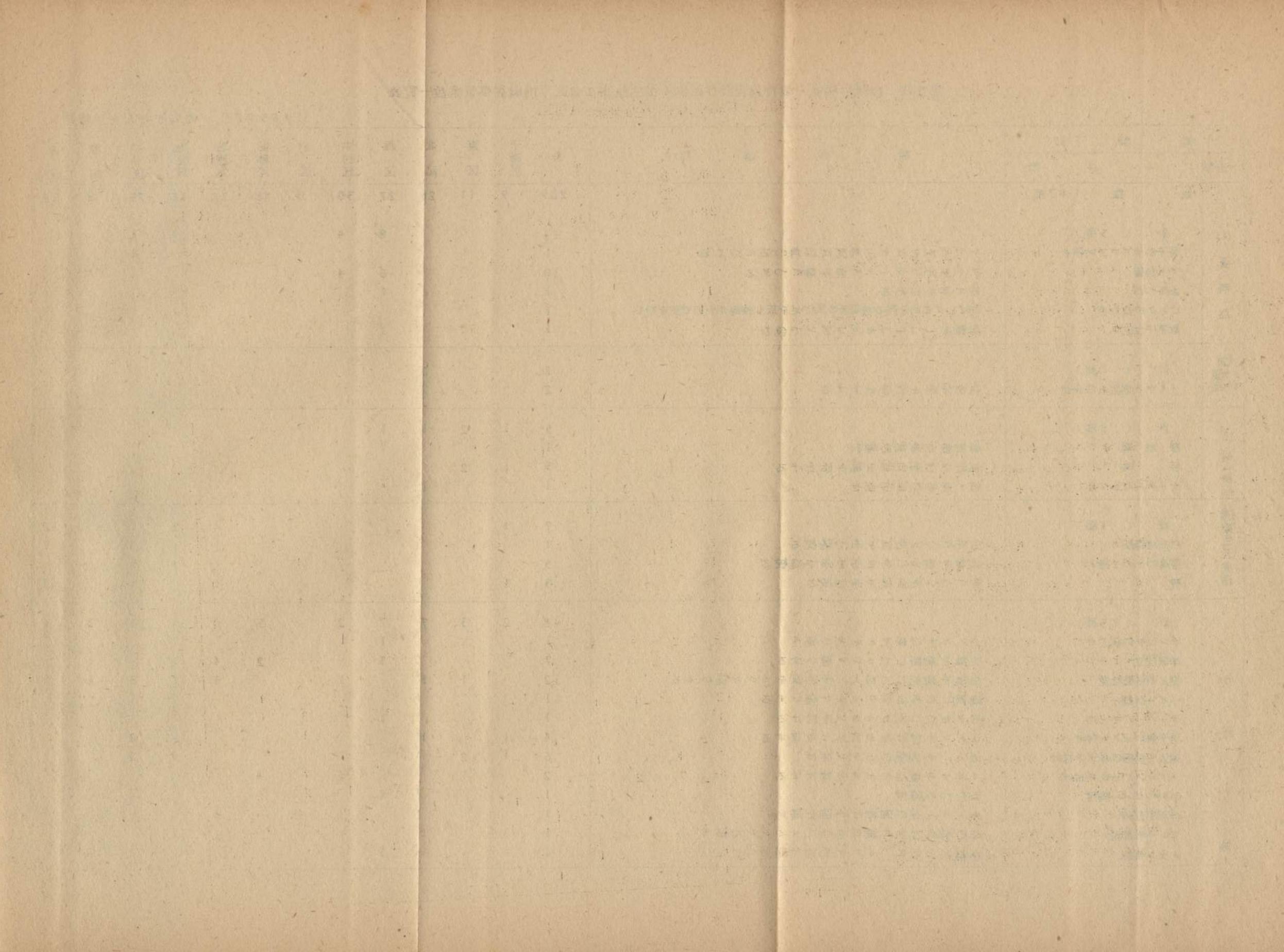
1955年7月 婦人少年局調

総数	100%
賠償させられる	5.3
単価を上げられる	0.5
やり直しをさせられる	25.4
問題にされない	10.5
不良品が出たことがない	54.0
からわからない	
その他	4.3

第1表 内職の種類・製作過程及び区別(名古屋市12区)内職従事世帯数一覧表

1955年7月 労働省婦人少年局調

大分類	種 類 別		製 作 過 程	計	千 種 区	東 区	北 区	西 区	中 村 区	中 区	昭 和 区	瑞 穂 区	熱 田 区	中 川 区	港 区	南 区	
	小	分 類															
	総 数 (97種)			209	9	11	26	27	30	5	18	17	16	25	8	18	
(1) 食 料 品	計 (5種)			14				8	4				1	1			
	菓子のセロファン張り		レツテルをはり三角又は四角の袋につくる	1										1			
	アメ包装		アメをオブラートに包み箱につめる	10				6	4								
	お茶つめ		袋に茶を詰める	1				1									
	するめの皮むき		のばしするめを作る為業者の所で足を取り持帰り小刀で皮をむく	1										1			
	駄菓子加工		落雁を一つ一つセロファンで包む	1				1									
(2) メ リ ヤ ス 製 品	計 (1種)			2			2										
	メリヤス製品とち合せ		各部分のとち合せをする	2			2										
(3) 編 物	計 (3種)			5	1	2	1	1									
	機械編		編物機で糸類を編む	1				1									
	手編		編針で毛糸衣類を編み仕上げる	3	1	2											
セーターのかぶり		袖・身頃のとち合せ	1			1											
(4) 染 色 及 整 理	計 (3種)			7	1							1	2	1		2	
	白布地縫紋り		白布についた点を糸で縫紋る	1													1
	帯揚のかのこ紋り		図案を書いてある布を糸で縫紋る	3										2	1		
	紋り		布についた点標を糸で紋る	3	1								1				1
(5) 洋 裁	計 (18種)			48	2	3	3	7	2		5	6	3	13	3	1	
	ハンカチの縁どり		ハンカチの縁をミシンで縫う	1				1									
	洋服仕立		生地を裁断してミシン縫いする	7				3			2	1				1	
	婦人子供服仕立		生地を裁断して婦人、子供服をミシン縫いする	12		1	1		1			3	1	3	1	1	
	ベビー服縫い		裁断してある布をミシン縫いする	1											1		
	オーバーのまとも		袖をまつつたりボタンを付ける	1				1									
	男子服のボタン付け		ボタンを付けたり穴かぶり等する	4	1		1								2		
	婦人子供服のボタン付け		婦人、子供服のボタン付け	6	1	2								1	2		
	メリヤスのボタン付け		メリヤス製品にボタン付けする	2						1	1						
	おむつカバー縫付		おむつの縫付	1				1									
	洋服部分縫い		セーラー服の袖だけの部分縫い	1									1				
	プレス布修理		布の破れた所に別布を当て、ミシンで縫う	1			1										
	シャツ製品		裁断した布にアイロンを掛け縫いつける	1					1								



第1表 内職の種類・製作過程及び区別(名古屋市12区)内職従事世帯数一覽表(続き)

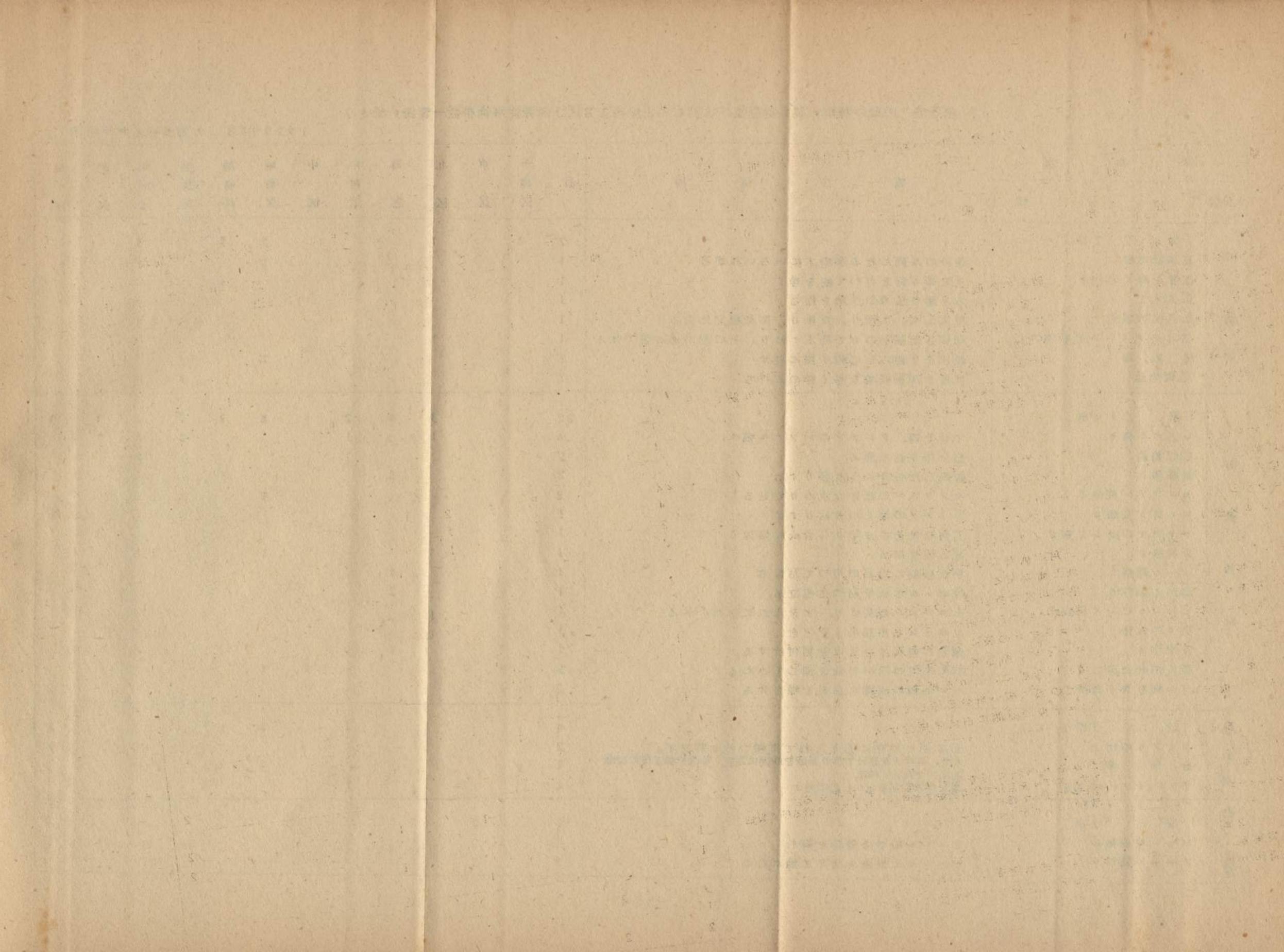
1955年7月 労働省婦人少年局調

大分類	種 類 別	製 作 過 程	計	千	東	北	西	中	中	昭	瑞	熱	中	港	南
	小 分 類			種 区	区	区	区	村 区	区	和 区	德 区	田 区	川 区	区	区
洋裁	座布団カバー縫い	白キヤラコを座布団カバーに縫いスナップをつける	1									1			
	ミシン加工	裁つてきたものをミシンで縫う	4								1		2	1	
	小間物ミシン加工	海水帽、マスク、腕カバー等	1										1		
	割烹前掛、パンツ縫い	パンツ、かつぼり前掛のミシン縫い	2							1			1		
	タオル寝巻縫製	裁断した布地のミシン加工	1										1		
	水遊用サツポーター縫い	裁断した布地をミシンで縫い形にする	1							1					
帽子	計 (3種)		3								1				2
	布製帽子仕立	裁断と仕上げ(大人、子供用)	1								1				
	麦藁帽仕立	経木を三つ編にして夏帽子を編む	1												1
	ビニール海水帽	ビニールの海水帽をミシンで縫合せる	1												1
和裁	計 (4種)		25	2	1	4	1	6	1		3	1	3	1	2
	和服仕立	反物を裁断し縫つて着物に仕立る	21	2		3	1	6	1		1	1	3	1	2
	一ツ身綿入加工	布を一ツ身に裁断し縫上げ綿入仕立にする	2								2				
	寝巻仕立	裁断してある布をミシンにて仕立る	1		1										
	ふとん皮縫い	ふとん用布をミシン仕立にする	1			1									
手袋	計 (4種)		22			6	1	2		3	1	4	3		2
	毛糸手袋かぶり	毛糸で指先、手頸の部分をかぶる	10			1		1			1	3	2		2
	軍手手袋かぶり	指先を縫じ手先にゴムを入れる	2			1	1								
	手袋の刺繍及アツブリツケ	手袋の甲にビーズで飾りをつけたり刺繍及アツブリツケする	9			3		1		3		1	1		
	手袋加工	毛糸の手袋の内側に皮をとじつける	1			1									
履物	計 (6種)		16				2	10		2	1			1	
	鼻緒縫い	裁断した細い布をミシンを掛け表へ返す	7				1	5						1	
	鼻緒の芯通し	横鼻緒の麻紐及び毛屑、紙等を芯として通す	4					4							
	鼻緒の前緒作り	前緒の麻紐に布を巻きつける	2				1	1							
	鼻緒の材料の掃除	模様金の粉の余分を除く	1							1					
	下駄の仕上	下駄の形になつた生地の上に薄い桐板を張りトノコ、ニス塗り	1							1					
ソール附	室内履の上下のとじ付け	1									1				

第1表 内職の種類・製作過程及び区別(名古屋市12区)内職従事世帯数一覧表(続き)

1955年7月 労働省婦人少年局調

種 類 別		製 作 過 程	計	千 種 区	東 区	北 区	西 区	中 村 区	中 区	昭 和 区	瑞 穂 区	熱 田 区	中 川 区	港 区	南 区
大分類	小 分 類														
(10)	計 (7種)		7	1		1				2	1	1	1		
	木製	柱時計木彫	1							1					
		反物を巻く芯作り	1								1				
		仏具木工	1	1											
		仏具位牌製造	1											1	
		アイスクリーム用経木エシ	1				1								
	品	経木編 芯板製造	1							1					1
(11)	計 (14種)		22			3	4	2	1	4	1	1	2	1	3
	紙製	レツテル張り	4			1							1	1	
		提灯製造	2					1						1	
		紙袋張り	2				1				1				
		セロファン袋張り	2							2					
		カミソリ袋張り	1												1
		オモチヤの紙くじ張り	1												1
		茶袋張り	1							1					
		ボール箱張り	1				1								
		洋かん箱作り	1				1								
		ビニールビーズ袋詰め	1				1								
		菓子の包装	1				1								
		文庫作り	1				1								
	荷札の針金通し	2							1	1					
	ゴム紐を巻く板作り	2												2	
(12)	計 (3種)		4					1		1					2
	金属	カミソリの仕上	2												2
		金鋼織	1							1					
		チラルミンのヤカン製造	1								1				
(13)	計 (2種)		3		2										1
	ビニール製品	ビニール袋編み	1												1
		ビニール籠作り	2		2										



第1表 内職の種類・製作過程及び区別(名古屋市12区)内職従事世帯数一覧表(続き)

1955年7月

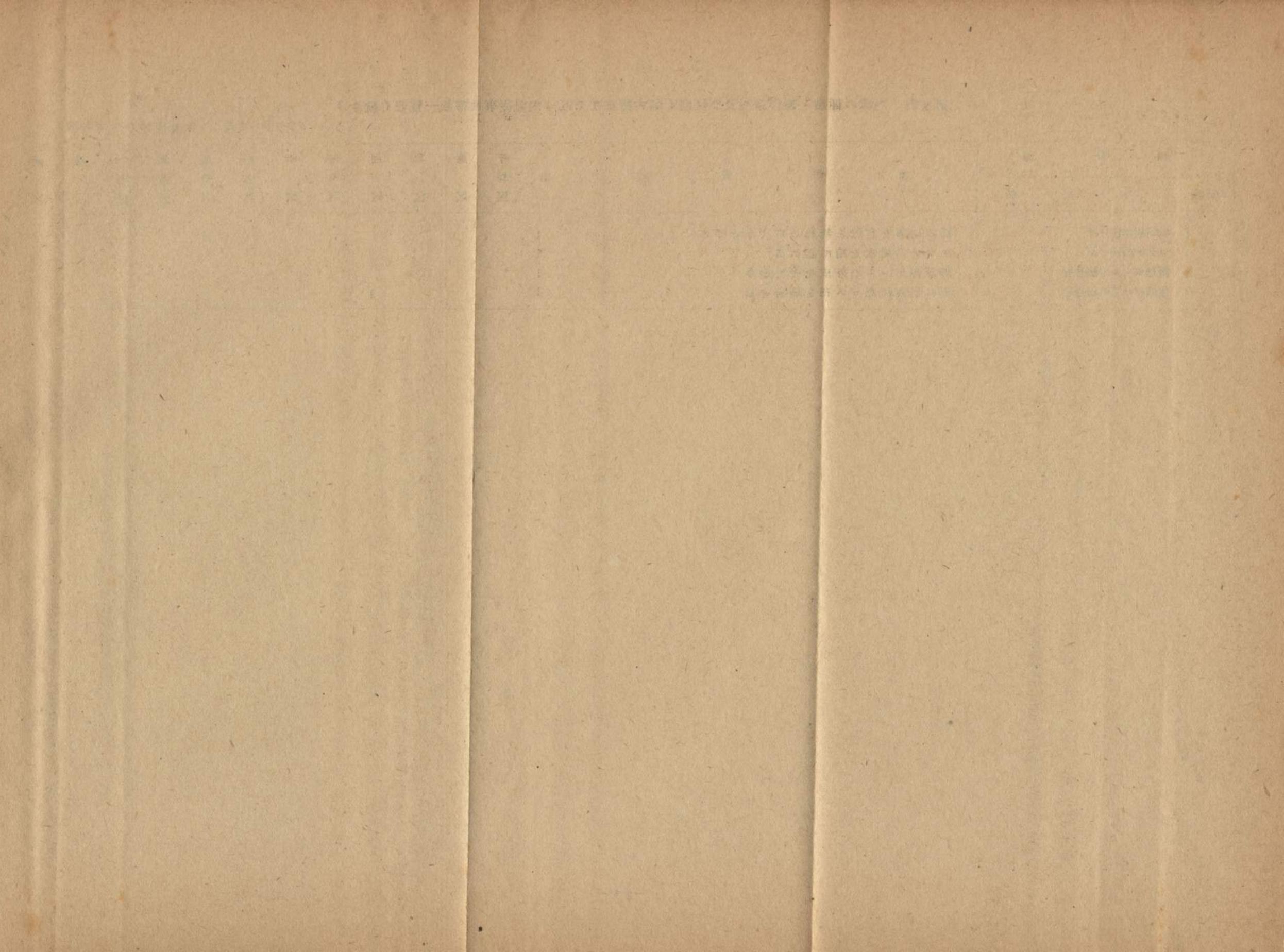
労働省婦人少年局調

大分類	種 類 別		製 作 過 程	計	千	東	北	西	中	中	昭	瑞	熱	中	港	南	
	小	分			区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区
(14) 機 械 器 具 製 品	計 (7種)			8					1	1	1		3			2	
	安全ピンの仕上		安全ピンの針金を曲げ笠をはめて針先を笠の中に改めて仕上る	1					1								
	金属製時計バンド組立		時計のバンドのクサリを機械でつなぐ	2										1			1
	時計の針をしめる		時計の針を合せて打込む	1							1						
	蛍光灯用トランス、コワばめ		既に巻いてあるコイルにコワをはめる	1										1			
	ガス器具加工		旋盤ガス器具を加工する	1													1
	ビニールピース製造機械部品加工		部品の仕上	1										1			
画鋏の型ぬき		薄い鉄の板を画鋏の型に機械でぬく	1								1						
(15) 玩 具	計 (4種)			5	1		2			1		1					
	人形の手足製造		人形の手足に木屑類を入れて作る	2	1					1							
	人形の腹の笛製造		ソフト人形、マーマー人形の腹に笛をつける	1									1				
	手芸品製造		人形を始めから作り完成させる	1			1										
	木製玩具のペーパー仕上		木製の玩具の自動車、大、馬などは工場での白い粉とニカワとませたもので下塗りがふきつけられる。それをペーパーでみがいて表面を平にし色ぬりが出来る様に平になるまでこすつて仕上る	1			1										
(16) 陶 器	計 (2種)			6	1	2	3										
	陶器の画工		陶器人物花類をあたり印を押してその上に筆で書く	1	1												
	陶器の転写		白生地陶器に絵のついている紙をゼラチンのりで張り付けかわかしてから糊気を洗いおとし紙をめくる。	5		2	3										
(17) そ の 他 の 雑 業	計 (10種)			12		1	1	2	2	1		1			3	1	
	ナイロンバンド金具付		ナイロンバンドに穴をあけ金具をつけて仕上る	1						1							
	蓆の皮むき		スタレを作る蓆をよく乾して1本づつ皮をむく	3											3		
	半襟の刺繍		半襟に型をつけて刺繍する	1													1
	絹糸のたばを小売用に小たばにする		糸をくるまでかせにする。紙板にまく	1			1										
	セ ン		オレンジジュース等のカネのセンにウイクタをつめたりパラフィンをはいてキルクをつめたりする。	1					1								
	自動車のゴム部分品の仕上		ごく小型のゴム部品を鉄ナイフを用いて仕上る。	1						1							

第1表 内職の種類・製作過程及び区別（名古屋市12区）内職従事世帯数一覧表（続き）

1955年7月 労働省婦人少年局調

種 類 別		製 作 過 程	計	千 種 区	東 区	北 区	西 区	中 村 区	中 区	昭 和 区	瑞 穂 区	熱 田 区	中 川 区	港 区	南 区
大分類	小 分 類														
	紙切屑の色分け	紙の切屑を有色と無色とにより分ける	1								1				
	マッチの箱づめ	マッチの軸木を箱に詰める	1			1									
	野球ボールの縫合せ	野球用ボールの外皮を糸で縫う	1					1							
	生理バンドの縫合せ	形に切られたゴム布を縫合せ	1				1								



第2表 内職の種類別作業条件一覧表

(その1・女子の部)

大分類	種 別	内職	工賃単価(円)			1日の仕事の量			1日の従事時間			1日の工賃(円)			1時間当り工賃円			1ヵ月従事日数			1ヵ月内職収入			訓練期間					
			世帯数	単 位	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	
(1)	食料品	計	14																										
		菓子(セロファン張り)	1	1,000枚	-	-	50.00	-	-	1000枚	-	-	8時	-	-	50.00	-	-	6.25	-	-	20	-	-	150000	-	-	ナシ	
		アメ包装	10	1箱	19.20	.25	5.93	100箱	7箱	21箱	8時	3時	7	19800	3000	77.44	16.50	4.00	7.52	20日	7日	12	3,000円	100円	120000	-	-	ナシ	
		お茶つめ	1	1袋	-	-	.20	-	-	250袋	-	-	3	-	-	50.00	-	-	16.70	-	-	21	-	-	130000	-	-	ナシ	
		すゝめ(皮むき)	1	1貫目	-	-	12.00	-	-	3貫目	-	-	不明	-	-	40.00	-	-	不明	-	-	20	-	-	100000	-	-	ナシ	
		駄菓子の加工	1	1コ	-	-	3	-	-	1000コ	-	-	4	-	-	30.00	-	-	7.50	-	-	20	-	-	60000	-	-	ナシ	
(2)	メス製品	計	2																										
		メリヤス製品とち合せ	2	1枚	-	-	10.00	10枚	5枚	7 $\frac{1}{2}$ 枚	8時	7時	8時	10000	5000	75.00	12.50	7.14	10.00	23日	2日	22	3,000円	1500円	225000	-	-	7日	
(3)	編物	計	5																										
		手編	3	1枚	-	-	300.00	$\frac{1}{2}$ 枚	$\frac{1}{4}$ 枚	$\frac{1}{3}$ 枚	10時	5時	8時	8000	6000	70.00	8.57	8.00	8.24	10日	2日	7	800円	150円	55000	1年	3月	8月	
		機械編	1	1オンス	-	-	30.00	-	-	$\frac{1}{12}$ オンス	-	-	8	-	-	400.00	-	-	50.00	-	-	30	-	-	650000	-	-	6月	
		セーターのかわり	1	1枚	-	-	30.00	-	-	1枚	-	-	5	-	-	30.00	-	-	6.00	-	-	不明	-	-	不明	-	-	ナシ	
(4)	染色及整理	計	7																										
		白布地縫紋り	1	100粒	-	-	8.00	-	-	350粒	-	-	5時	-	-	30.00	-	-	6.00	-	-	20	-	-	100000	-	-	1月	
		帯揚(の)のこ紋り	3	1枚	70.00	30.00	47.00	1枚	$\frac{2}{3}$ 枚	$\frac{3}{4}$ 枚	-	-	不明	4000	2000	30.00	-	-	不明	-	-	20	-	-	40000	-	-	3年	
		紋り	3	1反	50000	200.00	333.00	$\frac{1}{2}$ 反	$\frac{1}{4}$ 反	$\frac{1}{3}$ 反	10時	8時	9	25000	5000	133.00	31.25	5.00	14.29	30日	2日	28	5,000	1500円	310000	1月	10日	20日	
(5)	洋裁	計	48																										
		ハンカチの縁どり	1	1ダース	-	-	3.00	-	-	ダース	-	-	5時	-	-	150.00	-	-	30.00	-	-	15	-	-	180000	-	-	1年	
		洋服仕立	7	1枚	100000	20.00	561.67	10枚	$\frac{1}{2}$ 枚	2 $\frac{1}{2}$ 枚	12	8	8	35000	10000	211.43	43.75	16.25	27.41	29日	20日	24	2000円	3200円	595000	3年	6月	1年	
		婦人子供服仕立	12	1枚	50000	13.00	166.08	10枚	$\frac{1}{3}$ 枚	3枚	10	3	7	25000	5000	124.83	31.25	6.25	19.34	25	10	19	7000	600	285436	4年	6月	2年	
		ベビー服縫い	1	1枚	-	-	8.00	-	-	10枚	-	-	6	-	-	80.00	-	-	13.33	-	-	20	-	-	160000	-	-	6月	
		オーバーのまとめ	1	1着	-	-	20.00	-	-	4着	-	-	8	-	-	80.00	-	-	10.00	-	-	30	-	-	110000	-	-	ナシ	
		男子服のボタン付け	4	(上着)1枚	25.00	13.00	19.50	6枚	4枚	5枚	8	6	7	12500	6000	86.25	13.33	7.50	10.48	20	6	13	2300	350	113750	1年	2日	4月	
		婦人子供服のボタン付け	6	1枚	10.00	.60	5.17	120枚	5枚	40枚	10	4	7	9000	5000	67.33	20.00	6.40	10.36	25	5	17	1700	300	121667	-	-	3年	
		メリヤスのボタン付け	2	1ダース	8.00	7.20	7.60	ダース	ダース	ダース	-	-	5	9000	3000	60.00	18.00	6.00	12.00	25	20	23	3000	1300	215000	-	-	ナシ	
		おむつカバー縫付	1	1ダース	-	-	80.00	-	-	ダース	-	-	8	-	-	100.00	-	-	12.50	-	-	30	-	-	200000	-	-	1月	
		洋服部分縫い	1	1枚	-	-	35.00	-	-	5枚	-	-	10	-	-	170.00	-	-	17.00	-	-	10	-	-	170000	-	-	1月	
		プレス布修理	1	1枚	-	-	5.00	-	-	15枚	-	-	5	-	-	75.00	-	-	15.00	-	-	15	-	-	120000	-	-	ナシ	
		シャツ製品	1	1ダース	-	-	15.00	-	-	7ダース	-	-	4	-	-	100.00	-	-	25.00	-	-	5	-	-	50000	-	-	1年	
		座布団カバー縫い	1	1枚	-	-	5.00	-	-	22枚	-	-	6	-	-	100.00	-	-	16.67	-	-	25	-	-	370000	-	-	ナシ	
		ミシン加工	4	1枚	50.00	23.00	37.25	8枚	2枚	5枚	13	6	9	40000	10000	180.00	40.00	9.23	19.45	25	18	21	7500	1800	376667	4年	1月	2年	
小間物ミシン加工	1	1ダース	-	-	43.00	-	-	3ダース	-	-	7	-	-	100.00	-	-	14.29	-	-	28	-	-	400000	-	-	ナシ			
割烹前掛パンツ縫い	2	1枚	17.00	15.00	16.00	15枚	7枚	11枚	-	-	8	10000	8000	90.00	12.50	10.00	11.25	28	23	26	3300	2000	265000	-	-	ナシ			
タオル寝巻縫製	1	1枚	-	-	12.00	-	-	13枚	-	-	8	-	-	150.00	-	-	18.75	-	-	ナシ	-	-	ナシ	-	-	ナシ			
水遊用サツポーター縫い	1	1ダース	-	-	16.00	-	-	3ダース	-	-	5	-	-	50.00	-	-	10.00	-	-	25	-	-	100000	-	-	ナシ			
(6)	帽子	計	3																										
		布製帽子仕立	1	1ダース	-	-	30.00	-	-	ダース	-	-	10時	-	-	300.00	-	-	15.00	-	-	30	-	-	1300000	-	-	2年	
		麦藁帽子仕立	1	1本	-	-	6.00	-	-	$\frac{1}{2}$ 本	-	-	10	-	-	10.00	-	-	1.00	-	-	26	-	-	30000	-	-	ナシ	
		ビニール海水帽	1	100コ	-	-	75.00	-	-	50コ	-	-	5	-	-	40.00	-	-	8.00	-	-	25	-	-	100000	-	-	1日	

注1) 従事世帯が1世帯しかないものは平均欄に記入した。
 2) 「1日の仕事の量」欄の単位名は工賃単価欄の単位名による。
 3) 「1日の従事時間」は世帯内の主たる内職従事者の従事時間である。

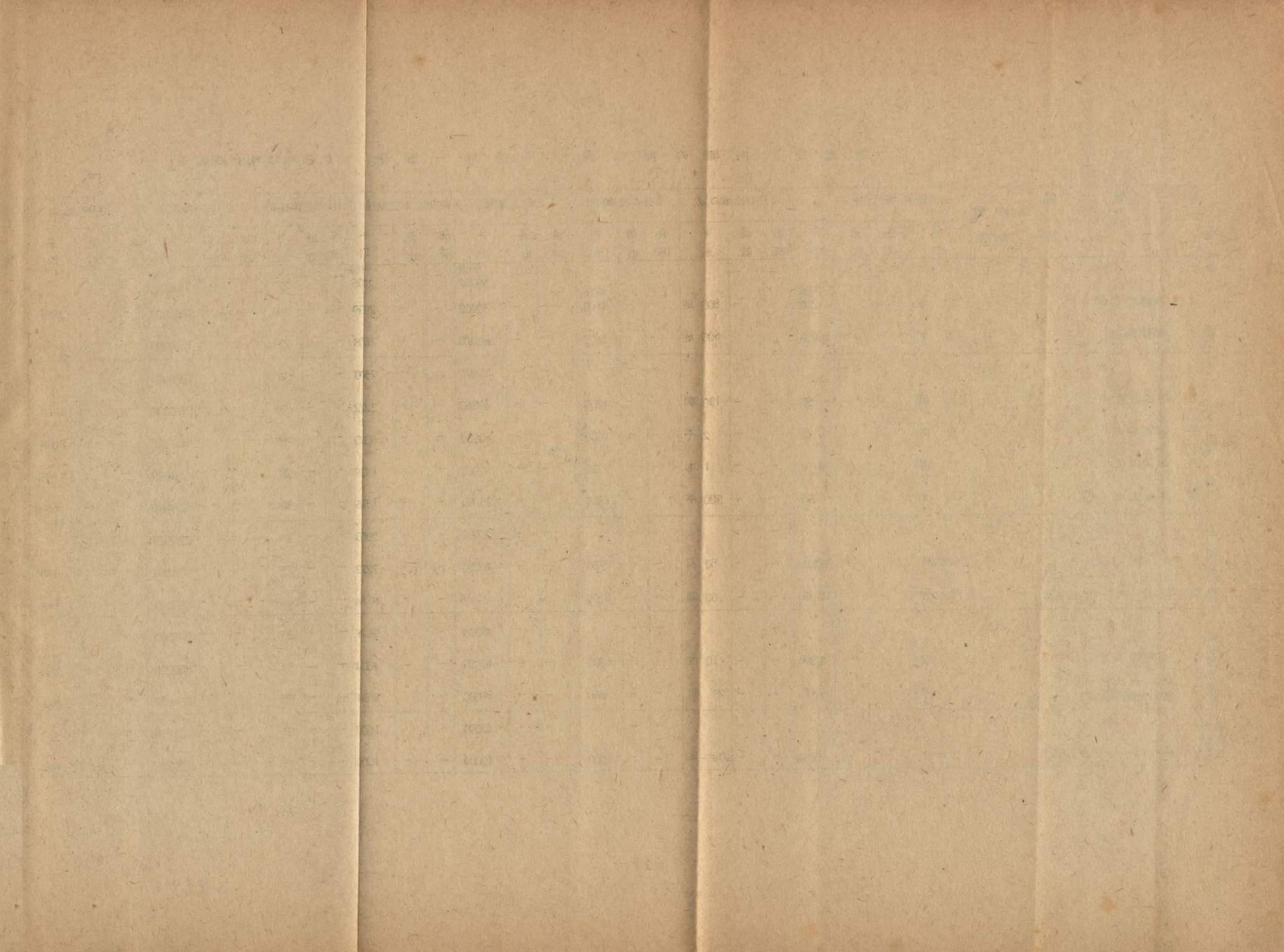
4) 「1日の仕事の量」と「1日の工賃」は主たる内職従事者と補助者とを合せたものである。

5) 1時間当り工賃—主たる内職従事者の1日の従事時間+補助者の1日の従事時間合計

6) 次頁注6参照

第 2 表 内 職 の 種 類 別 作 業 条 件 一 覧 表 (その 2 男 子 の 部)

大分類	種 類 別 小 分 類	内 職 世帯数	工 賃 単 価 (円)			1 日 の 仕 事 の 量			1 日 の 従 事 時 間			1 日 の 工 賃 (円)			1 時 間 当 り 工 賃 (円)			1 カ 月 の 従 事 日 数			1 カ 月 の 内 職 収 入			訓 練 期 間			
			単 位	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均
9	履 計	2		-	-		-	-		-	-		-	-	円銭 46000	-	-	円銭 2706	-	-	日 27	-	-	円銭 1250000	-	-	
	1. 鼻緒の芯引き	1	100 足	-	-	円銭 4000	-	-	800 足	-	-	時分 1100	-	-	32000	-	-	2909	-	-	30	-	-	1000000	-	-	2ヶ月
	物 2. 鼻緒製造	1	100 足	-	-	10000	-	-	600 足	-	-	1600	-	-	60000	-	-	2608	-	-	23	-	-	1500000	-	-	2 年
10	木 計	4		-	-		-	-		-	-		-	-	33800	-	-	2500	-	-	26	-	-	1075000	-	-	
	1. 柱時計木彫	1	1 個	-	-	350	-	-	130 個	-	-	1800	-	-	40000	-	-	2222	-	-	28	-	-	1300000	-	-	4 年
	2. 仏具製造	1	1 本	-	-	不明	-	-	2 本	-	-	1000	-	-	60000	-	-	6000	-	-	25	-	-	1800000	-	-	10年
	3. 仏具木工	1	1 個	-	-	不明	-	-	1 本	-	-	700	-	-	10000	-	-	1429	-	-	20	-	-	200000	-	-	11年
	4. 反物を巻く芯	1	1 本	-	-	50	-	-	500 本	-	-	1400	-	-	25000	-	-	1316	-	-	30	-	-	1000000	-	-	ナシ
12	金 計	2		-	-		-	-		-	-		-	-	20000	-	-	2000	-	-	25	-	-	1250000	-	-	
	1. 金 鋼 織	1	100 尺	-	-	30000	-	-	80 尺	-	-	900	-	-	20000	-	-	2222	-	-	25	-	-	500000	-	-	6年
	2. ジュラルミンのやかん製造	1	1 個	-	-	30000	-	-	60 個	-	-	1100	-	-	不明	-	-	不明	-	-	不明	-	-	2000000	-	-	1年
14	機 計	2		-	-		-	-		-	-		-	-	45000	-	-	5625	-	-	30	-	-	1500000	-	-	
	1. ガス器具加工	1	1 個	-	-	4000	-	-	10 個	-	-	1000	-	-	40000	-	-	4000	-	-	30	-	-	1300000	-	-	5年
	2. ビニールビーズ製造機械部品加工	1	不明	-	-	不明	-	-	不明	-	-	600	-	-	50000	-	-	8333	-	-	30	-	-	1700000	-	-	1年
17	その 計	1		-	-		-	-		-	-		-	-	10000	-	-	1000	-	-	25	-	-	120000	-	-	
他業 1. ナイロンバンド金具付け	1	1ダース	-	-	500	-	-	20ダース	-	-	1000	-	-	10000	-	-	1000	-	-	25	-	-	120000	-	-	ナシ	



印刷年月日 昭和 31 年 2 月 18 日

発行年月日 昭和 31 年 2 月 25 日

印刷所 有限会社 桜井広濟堂
東京都港区芝三田四国町 2 / 17 号
(45) 5798・0818